

2026.09.09 wed. 17:00~18:30 Ibaraki University

少しシンブルに考えてみると

熱中症対策とは

新しい製品を増やすことでも

マニュアルを厚くすることでもなく

「働く人を守る」という目的に

どれだけ近づけるか

ということなのかもしれません。

では

今ある対策を一度並べ直してみると

どこに課題が残り

どこに研究の余地があるのでしょうか。

現状を知ること。

限界を知ること。

そして、新しい可能性を考えること。

それが

次の熱中症対策につながる

第一歩になるはずです。

40℃でも働けますか？
職場の熱中症を考える 90分

第34回 地球環境シンポジウム 若手勉強会

